



演奏することが楽しい
聴くことが楽しい
それが「音楽」なんです



HITO

やす お
水山裕夫さん

(東京都交響楽団バイオリニスト)

お話を伺っているときはとても優しい目をしている水山さんですが、バイオリンと向き合うと一転して厳しい「プロの目」に変わります。「プロの演奏家として後悔しないよう、最善を尽くしています。聴いてくれる人に感動してもらいたいですから。」と水山さん。

「家族がみんな音楽好きでした。兄がバイオリンを習っていたので、その横で羽子板に糸を張り、竹の物差しを弓の代わりにして一緒に弾いていました。」と穏やかな口調で話してくれるのは、北入曾にお住まいの水山裕夫さん。東京都交響楽団のバイオリニストです。5歳になってやっと買ってもらったバイオリンを持って先生の所に通うようになった水山さん。実は3歳のときに小児まひで足が不自由になってしまいました。その足に重いギブスをつけていた水山さんに、先生は、君は将来バイオリンの先生になるといいよ。座ってできる仕事だから。一生懸命頑張りなさい。」とたびたび声をかけてくれました。「このときに私の今の仕事は決まっていたんでしょうね。」と子どもころを振り返ります。練習を積み重ねます。バイオリンにのめり

込み趣味は?と聞かれれば迷わず「音楽」と答えていた高校生時代に「生の音が聞きたくて、たくさん演奏会に出かけました。カラヤン・ヘルリンフィルが来日したときには、値段の安い席のチケットをとろうと、日比谷公園で2日間徹夜しました。」というほど夢中だったそうです。

武蔵野音楽大学でバイオリンを専攻してからは、音楽が趣味とは言えなくなりました。水山さん卒業の翌年に東京都交響楽団(都響)のオーディションを受け、プロのバイオリニストとしての生活が始まります。水山さんに、ソロではなくオーケストラを選んだ理由を伺うと、団員それぞれ音に個性を持っています。そんな人間が集まり、パートごとに全体の音を削り上げていくわけですから、とても難しい。でも、それが自分でも言えない魅力、醍醐味ですね。自分で演奏していて「ぞくぞく」とするほど素晴らしい音になります。それをもちっともつと多くの人に聴いてもらいたいと思います。」とおっしゃいます。

プロの奏者として活動する一方、東京から狭山市に越してきた水山さんは、都内に比べて生の音に接する機会の少ない狭山で、演奏したり聴いたりする場を増やせないかと考え、ていました。そんなとき公民館で弦楽合奏講座が開かれ、講師として呼ばれました。受講者がバイオリン、ピアノ、チェロ、コントラバス、それ



水山さんが弦楽合奏講座で講師をしたことがきっかけになり「狭山室内アンサンブル」が生まれました。

それぞれ楽器を持って来ていたので驚きました。初めてみんなの音を出したときの気持ちの昂りは、今でも忘れられません。」と話します。そして「一日の都響の仕事が終わって、狭山に帰って来て音を出す。これにはまってしまいました。感動しました。仕事と切り離して音楽ができるなんて素晴らしいことです。」と地域での演奏指導にも力が入ります。そしてこの活動の一つとして、3月に狭山室内アンサンブルのコンサートを、6月にはパッサのバイオリン協奏曲の演奏会を開催します。

水山さんに今後の夢を伺うと、の楽団もそうですが、都響にも定年があります。私も定年になったら、早くアマチュアに戻って音を楽しみたいですね。音楽は私そのもの。高校生のころのように「趣味は音楽。」と言いながら、みんなと一緒に音楽を地域に広げていきたいですね。」と話してくれました。水山さんの中には、アマチュアに戻りみんなと演奏する構想が膨らんでいることでしょうか。

サンパーク奥富は 自然の恵み 太陽の光と熱を活用しています



多目的浴室には、リハビリや日ごろの運動不足の解消のために長さ20m、幅5.4mの歩行浴槽をはじめ、ハーブ浴槽、気泡浴槽、ジェットバスが設置されています。

REPORTER'S EYE

狭山市市民健康文化センター・
サンパーク奥富

【リポーター】

後藤照雄さん(狭山台在住)



リポーターズアイでは、行政のしくみや話題性のあることから、市内のいろいろな施設などを、市民がレポートします。

昨年10月、下奥富に素晴らしい施設が誕生しました。市民の健康増進と憩いの場、そして文化活動の場となることを目的に設置された狭山市市民健康文化センター、サンパーク奥富です。今回は小宮所長の案内でサンパーク奥富をご紹介します。

外から見ると分かるのですが、この施設の特徴は、自然エネルギーである太陽の光と熱を有効に利用しているところです。屋上には太陽電池と太陽熱集熱器があり、ここで作られた電気とお湯は、施設の照明や給湯に使われています。このエネルギーを原油の量で表すと、月にドラム缶で約20本も節約できることになるのだそうです。これだけの原油を燃やさずに済むということは、化石燃料の節約、地球温暖化の防止にも役立つこととなります。このよ

うな太陽電池と太陽熱集熱器の両方を備えた施設は、自治体としては全国で初めての施設と聞いて、環境に配慮した地球にやさしい狭山市の取り組みが感じられます。サンパーク奥富という愛称も、びったりだと思えました。駐車場もたくさん用意されていますが、市内の循環バス、茶の花号の停留所になっていますので、車でなくても気軽に利用できます。

館内に入りますと気づいたことは、段差がまったくないことです。高齢者や車いすの人でも安心して利用できるよう、スロープや手すり、点字ブロックが設置されるなど、細部まで配慮されています。1階には多目的ホールや会議室、ICT学習室などがあり、「文化教養の場」として団体で利用することができます。多目的ホールは講演会や講習会のほか、バドミントンなどのスポーツに利用できるほか、200インチの大型スクリーンも備えられています。このホールも貸し出すだけでなく、今月から第2土曜日と第3日曜日には親子で楽しめる映画を上映するとの話でした。また、ICT学習室もグループで登録して活用できるよう、準備を進めているそうです。そしてエントランスや廊下には絵や写真を飾る展示スペースがあり、無料で利用できますので、サークルの展覧会などを開催したいかたは相談してみたいかがでしょうか。また、2階は、健康増進とふれあいの場」として個人で利用

することができません。健康づくりに役立つよう作られた多目的浴室には、20mの歩行浴槽、ハーブ浴槽、気泡浴槽などがあり、リハビリや日ごろの運動不足の解消に多く利用されているそうです。今後は水中歩行教室なども開催する予定とのことで、私もぜひ参加したいと思えます。また、ゆつくりくつろげる浴室、大広間、談話室、ラウンジでも、大勢の皆さんが思い思いに利用していました。この2階の利用料金は2時間まで一般が300円、65歳以上の人と小・中学生が150円です。また、お得なプリペイドカードもあります。

サンパーク奥富は、オープン以来毎日約300名のかたが来館しているそうです。これからも私たちが利用者やマナーを守り、みんなが気持ちよく利用できる施設であってほしいと思えました。

問い合わせサンパーク奥富へ09 69 3809



お風呂上がりには談話室で、囲碁や将棋を楽しみます。親子のコミュニケーションのひとつです。